学校番号	３００７

令和８年度　工業科（機械科）

教科	工業	科目	課題研究	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	自主編成教材						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１年と２年の実習で学んできた基礎的・基本的な技術・技能および機械設計や機械工作での知識を使い、各テーマにおける課題やものづくりについて研究を行い、問題点や改善点を検討あるいは製作法を考え、解決あるいは製作していきます。また、年度末には１年間研究してきたことをまとめ、みんなの前で発表をしてもらいます。

2　学習の到達目標

１．それぞれのテーマで基礎的・基本的な知識と技術を身に付け、環境に配慮し、ものづくりを合理的に計画的する。 ２．テーマに関する課題を発見し、その改善・向上をめざして合理的かつ創造的に解決する力を身に付ける。 ３．テーマに関して自ら学び、その内容に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。最後はみんなの前で１年間の活動を発表する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	ものづくりや資格取得に関する基礎的な知識と技術を身に付け，社会環境に適した工業の発展・調和の在り方を踏まえた機械設計の意義や役割を理解している。	基礎的な知識と技術を活用し，広い視野を持ち，自ら考え，適切に判断し，創意工夫する能力を身に付けるとともに，その成果を的確に表現することができる。	ものづくりや資格取得に関心を持ち、意欲的に取り組むとともに、創造的・実践的な態度を身に付けようとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
通年	ものづくり	機械工学の分野のものづくりを中心に以下のテーマから主体的な学びを実現する。 テーマ１　溶接技術 テーマ２　加工技術 テーマ３　鋳造技術 また目標設定した資格に必要な知識・技能の習得。	a:テーマに関する学習を通じて、そこで得た知識を実技で活用できる能力を持っている。 b:　テーマに関する構造や性質を理解し、発表できる。 c:テーマの研究に関心を持ち、意欲的に取り組み、学習する態度を持っている。	授業態度の確認 レポート 作品点 授業中の発言	授業態度の確認 レポート 作品点 授業中の発言	授業態度の確認 レポート 作品点 授業中の発言
	パワーポイント	パワーポイントの説明 発表用資料の制作	a:プレゼンテーションの準備や技法について理解し、機器の種類と特性は理解できたか。見せ方の工夫はされていて、リハーサルは十分行われたか。 b:　適切な題材やプレゼンテーションツールを選択できたか。ストーリーの組み立ては適切か。 c:準備段階における情報収集や発表準備に積極的に関われたか。発表時における工夫は見られたか。	授業態度の確認 確認作業 授業中の発言 プレゼン資料及び発表態度	授業態度の確認 確認作業 授業中の発言 プレゼン資料及び発表態度	授業態度の確認 確認作業 授業中の発言 プレゼン資料及び発表態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度